

平成30年10月1日

関係各位

蛭沢愛護会 事務局 八 卷 洋 樹

ご協力のお願いについて

日頃より蛭沢湖の環境整備等にご協力を賜り、御礼申し上げます。

さて、蛭沢湖は数年前から堰堤の漏水防止工事を行ってまいりましたが、平成32年度に通常貯水に戻る予定です。そのようなことから、今年度及び来年度は、最終工事である水門工事を行うため、2年続けて抜水（完全に排水）する予定としています。

つきましては、これらの対応として、高島町役場商工観光課並びに米沢平野土地改良区の指導のもと別紙の要領により、「水位確保のための土のう積み作業」を行うこととなりました。各団体におかれましては年間事業（例会）などもあり、誠に恐縮に存じますが、緊急的な対応であることや高島町及び放流協からいただいたへら鮎を絶やさぬことなどをご理解いただき、万障繰り合わせのうえ作業にご協力賜りますようお願い申し上げます。

へら鮒の保護を目的とした蛭沢湖水位安定対策の実施

1. 実施目的

放流している「へらぶな」の生息維持を図るため、一定水位を確保するための土のう積みを行う。(米沢平野土地改良区と協議済み。)

2. 実施日 平成30年11月4日(日) 午前7時から午後4時まで

3. 集合時間 午前7時

4. 集合場所 屋代地区公民館(土のうを積み。)
土のうを積み込んだ後に、蛭沢湖堰堤(旧森谷売店の対岸)に向かう。
※屋代地区公民館: J A山形おきたま屋代支店北側
高畠町大字竹森55番地 (裏面参照)

5. 参集範囲及び協力依頼先

- ・蛭沢愛護会、日研米沢支部、長井中央支部、長井竿友支部
- ・日本へら鮒釣り研究会山形地区

6. 作業内容

- ① 町から提供を受けた土のう(200袋)を、屋代地区公民館から蛭沢湖堰堤西側に運ぶ。
- ② 手作業により、土のうを堰堤上から水門付近に移動する。
- ③ 別紙、平面図により土のうを積み上げる。(不足の場合は、高畠消防署うらの土のう置き場から不足分を調達する。(1mの水位は確保する。))
- ④ 土のう積み上げと並行して、水門を開く。(残った魚を本湖に再放流する。ただし、外来種は、土に埋めて処分する。)
- ⑤ 念のため余水吐け下池(終末池)の確認を行う。
- ⑥ 時間を見計らいながら、適宜昼食時間をとる。
- ⑦ 水門と積み上げた土のうの間に残ったへらぶなを本湖に戻す。

7. 持参するもの

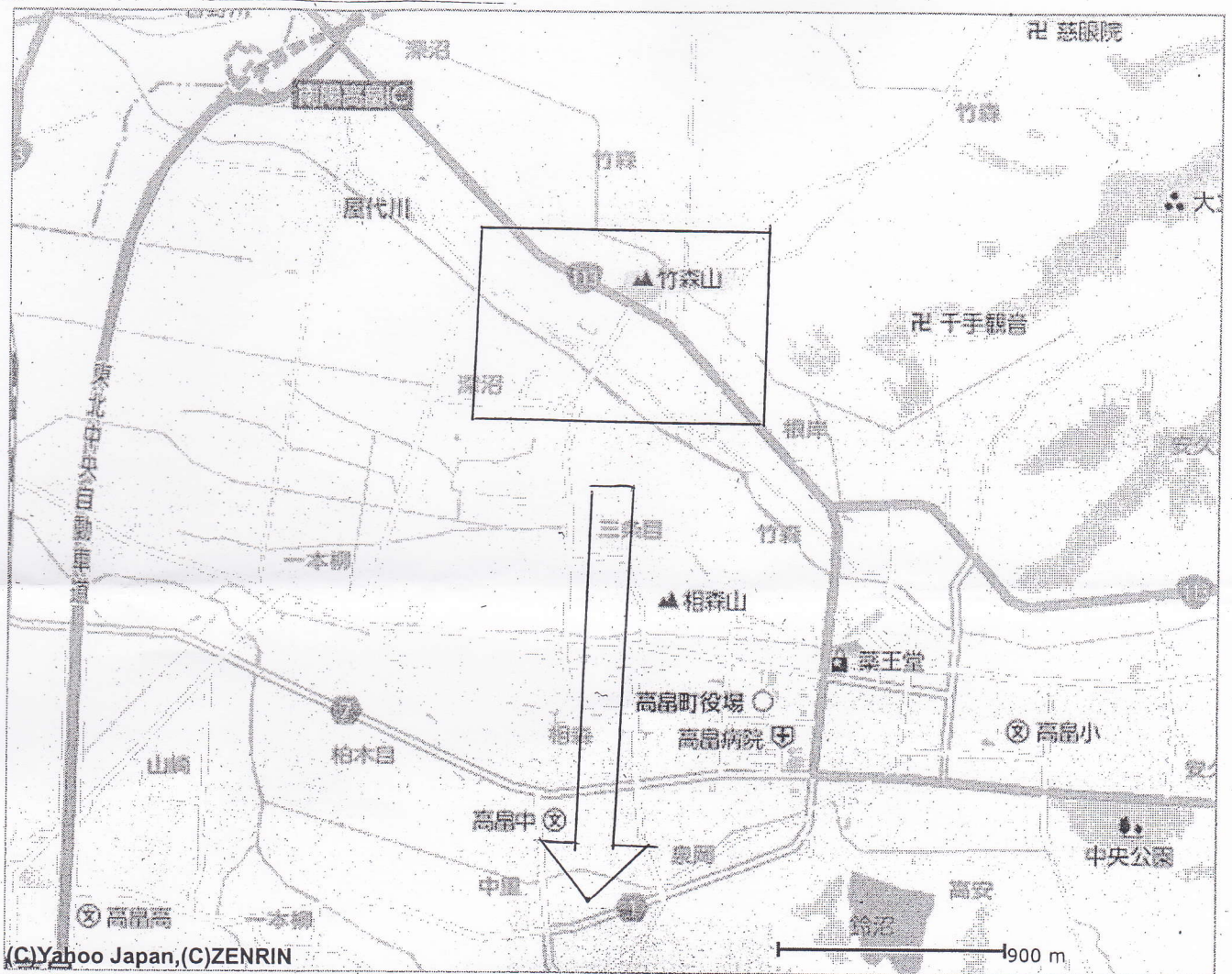
- ・汚れてもよい服装。
- ・スコップ(念のため)
- ・長ぐつ(胴長がある方は、胴長持参)
- ・一輪車
- ・飲料水
- ・軽トラック(協力可能な方)
- ・昼食

8. 蛭沢湖の今後の状況(工事計画等)について

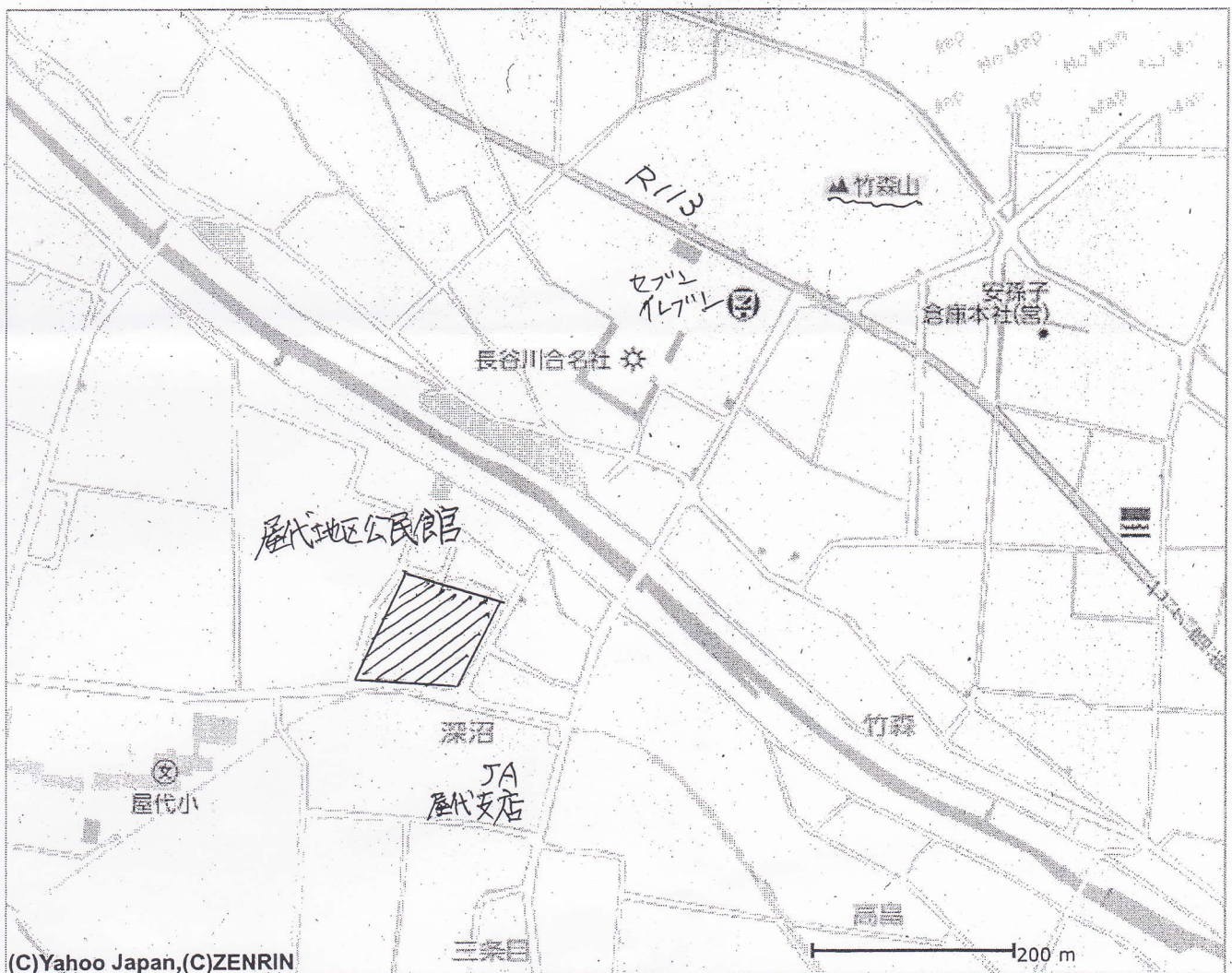
平成30年度11月~12月	土砂吐き堆泥状況の確認(米平)…抜水
〃	堤体の堤頂部(2m)土入れ替え工事(山形県)
平成31年1月	貯水再開
平成31年5月	満水後に漏水確認
平成31年度	土砂吐きゲート改修工事…抜水
平成32年度	通常貯水(満水)

9. その他

蛭沢愛護会 代表 齋藤 和之
事務局 八巻洋樹 携帯 090-1068-8948



(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN



(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN